

2017 春季生活闘争・妥結情報

2017. 3. 15—第1号— 連合北海道 春季生活闘争本部

5 組合が妥結！ 昨年を上回る！

【フード連合】

金額は、組合員一人平均。()内は昨年実績

木田製粉労働組合 <妥結1号・3月21日に正式妥結予定>

- 月例賃金 総額 5,300 円 (5,250 円) ↑ 2.126%
- 一時金 5.4 ヶ月 (5.3 ヶ月)

【UA ゼンセン】

DCM ホーマックユニオン <妥結2号>

- 月例賃金 ベア・定昇込 4,324 円 ↑ 1.53% (3,823 円)
- パート時給 交渉中

マックスバリュ北海道労働組合 <妥結3号>

- 月例賃金 ベア・定昇込 4,120 円 ↑ 1.61% (3,643 円)
- パート時給 +28.3 円 ↑ (16.9 円)

イオン北海道労働組合 <妥結4号>

- 月例賃金 ベア・定昇込 7,020 円 ↑ 2.48% (6,900 円)
- 一時金 年間 4.0 ヶ月 (4.0 ヶ月・昨年の同月数確保)
- パート時給 +25 円 ↑ (22 円)

公表不可組合 <妥結5号> ※公表不可

- 月例賃金・パート時給ともに昨年を上回る！

2017 春季生活闘争は、第 1 のヤマ場を迎えた。

中央では、米国新政権の誕生や英国の欧州連合離脱、新興国経済の減速など経済情勢の不透明さを理由に、経営側は慎重な姿勢を崩しておらず厳しい労使交渉が続いている。

そのなかで北海道では、フード連合、UA ゼンセンの組合（非開示組合を含む）が昨年を上回る額の回答を引き出した。消費者物価指数がマイナスに落ち込む厳しい交渉環境において、ベアを勝ち取ったことの意味は、非常に大きい。

春闘の闘いは始まったばかりである。

連合北海道は昨日（15日）、札幌駅周辺にて第一のヤマ場における街頭宣伝を行った。杉山事務局長は「『底上げ・底支え』『格差是正』と『経済の自律的成長』の観点から、昨年に引き続き月例賃金の改善にこだわる。あらゆる格差を是正し、働き甲斐のある社会の実現を目指す」と述べ、ベアを含む賃上げの実施を求めた。

道内企業の99.8%が中小企業であり、交渉は6月まで続く。連合北海道に結集し、粘り強い闘いを進めていこう

春闘街宣第2弾：3月17日（金）朝8時～
札幌駅南口「佐藤水産さん付近」